

成田はぎさん 100歳顕彰

はぎさんの笑顔に癒されます



100歳になっても表情が豊かな成田はぎさんは、5月21日(月)にご自宅で100歳のお誕生日を迎えられました。

毎年お盆になると、家族みんなそろってにぎやかに過ごすのですが、この日は成田さんのお誕生日にあわせてご家族20人が大集合しました。家族みんなが集まるのが楽しみだと成田さん目を細くして言います。ご家族からバースデーソングを贈られると、この日一番の笑顔で、リズムミカルに手拍子をしてよろこんでいました。

ちなみに、ケーキにはろうそくが全部で10本立てられ、1本当たり10年分だそうです。

顕彰状を渡した濱館町長は「デイサービスを利用して家族と自宅で暮らしているのは理想の福祉の姿」と感心していました。



フィーバー★田植え！ビバ☆田植え！

町内各地で田植えの季節を迎えました。まだ小さな苗が風にそよぐ風景はさわやかな気持ちにしてくれます。

5月21日(月)に、中里小学校の5年生が小野大海さんの水田で田植を体験しました。初めての田んぼの感触に、悲鳴にも似た声が上がっていましたが、すぐ慣れたようで、顔に泥を付けながら楽しんでいました。この日は「ぼろかだる会」のメンバーも駆け付けてくれました。



また、中里高校の生徒が、5月12日(出)に、山王坊日吉神社(五所川原市市浦)のお田植祭に参加しました。

神社でのお田植祭齋行奉告祭の後、草履を脱いで足袋で御鎮田に入りました。生徒たちは、初めての感触に驚きをかかせない様子でしたが、参加した生徒は「初めての足袋、初めての田んぼで驚いたけど、慣れると大丈夫だった」と言っていました。

武田小学校の5年生も長利謙二さんの田んぼを借りて田植を体験しました。

はじめに、長利さんからイネの成長の話があり、児童たちは真剣にきいていました。いざ、田んぼへ入ってみると、田んぼの感触に大興奮で大きな声で「何コレ」と連呼して

いました。

最後は泥だらけになりながらも、上手に植えることが出来たようです。参加した児童は「冷たい泥の感触が気持ちよかった」と話し、大満足の田植えとなりました。

